資料3

新たな農業経営指標について

平成25年3月8日

経営局 経営政策課

農林水産省

新たな農業経営指標

－農業経営の改善・発展のための基本ツール－

農業経営者の皆様へ

「新たな農業経営指標」は、農業経営者の皆さまが自らの経営状況を自己チェックし、経営改善を図るために活用していただくことを目的とするものです。

この指標に毎年１回、定期的に取り組むことにより、皆さまの経営目標の達成に向けて、着実に経営を発展させていきましょう。

（認定農業者の方は、毎年の自己チェック結果を経営改善計画の中間年（3年目）と最終年（5年目）に市町村に提出する必要があります。）

指標の仕組み

「新たな農業経営指標」は、次の３つの内容で構成されています。

（１）経営改善のためのチェックリスト （→2～3ページ）

経営改善の発展に欠かせない経営管理、生産、販売・加工、財務、労務等に関する１４の取組について、自らの現在の取組状況や改善時期を明らかにすることができます。

（２）経営データの記入フォーム （→4～5ページ）

農業経営の基本となる労働力、農地、生産・販売のデータについて、自ら記入することで、経営の現状と目標を数値の形で客観的に把握できます。

（３）指標による評価結果シート （→6～7ページ）

「取組指標」、「技術指標」、「財務指標」の３つの指標により、現在の経営状況の評価を行い、経営発展の方向性と目標達成への道筋を明らかにすることができます。

農林水産省

（１）経営改善のためのチェックリスト

記入方法

1. 「取組指標」の各項目について、選択肢①～③の中から、自らの経営における現在の取組状況に最も近いもの１つを「取組状況」の欄に記入してください。
2. 14の項目すべての取組状況を記入した後に、「改善の優先度」の欄を記入していただきます。取組状況が①のものには「－」を、取組状況が②または③のものには、優先度に応じて、○（早急（１年以内）に改善すべきもの）、△（２～３年以内に改善すべきもの）、×（当面取り組む考えのないもの）のうち１つを記入してください。

分野	番号	項目	取組指標	選択肢	取組状況	改善の優先度
経営管理	1	目標設定	中長期的に目指す経営の姿を経営目標として定め、家族・従業員等と共有している。	① 明確な目標を立て、それを家族・従業員等と共有できている。 ② 目標は立てているが、家族・従業員等と十分に共有できておらず、自分でもあまり意識していない。 ③ 目標を立てていない。	①	－
	2	計画立案	目標達成に向けた経営計画を立て、それに従って営農活動を行っている。	① 文書化した経営計画があり、これを基に、営農活動を行っている。 ② おおまかな計画はあるが、必ずしも計画を意識せず営農活動を行うこともある。 ③ 経営計画を立てていない。	②	○
	3	評価・改善	定期的に経営状況の確認・評価を行い、経営改善を図っている。	① 毎年、経営計画の達成状況を確認・評価し、次期計画の改善に結び付けている。 ② 経営判断をしたり、問題が発生しそうな時には、経営状況の確認・評価を行うようにしている。 ③ 経営状況の確認・評価を意識的に行ったことがない。	②	△
生産	4	農作業記録	毎日の農作業記録を書面で残し、作業の改善に役立てている。	① GAP等に基づき、生産工程を適切に管理し、作業改善に結びつけている。 ② 主な農作業については、作業内容や作業時間等の記録を残すようにしている。 ③ カレンダーに記入したり、メモを残しておく程度できちんとした農作業の記録は付けていない。	①	－
	5	資材調達	資材価格の比較・検討を行い、調達先を決めている。	① 複数の調達先を比較・検討し、価格・サービス等を総合的に判断して調達先を決めている。 ② 他の調達先についても調べているが、調達先を変更したことはない。 ③ 調達先について比較・検討をしたことがない。	②	△
	6	コスト管理	生産に係るコストを常に管理し、収益の増加を図っている。	① 機械の償却費や支払金利等も含め、すべての生産コストを把握し、その低減に努めている。 ② 資材費等の直接的な経費については、生産単位（10a、1頭など）当たりで把握できている。 ③ 生産に係るコストを自分で計算したことがない。	②	△
販売・加工	7	強み把握	他と比較して、自らの農産物の品質や特性の強みを把握している。	① 市場のニーズや消費者の評価を把握し、強みを活かした販売戦略の構築や商品開発を行っている。 ② 強みは把握しているが、販売戦略には十分には活かされていない。 ③ 強みが何かよく分からない。	②	○
	8	販路確保	複数の販路を比較・検討して販路を決定するなど、安定的な販売のための取組を行っている。	① 複数の販売先を比較・検討し、総合的に判断して販路を決定している。 ② 他の販売先についても検討したことがあるが、基本的には販路は固定している。 ③ 販路を変更しようと考えたことがない。	①	－
	9	付加価値	リスクへの備えをした上で、食品加工や直接販売等による付加価値の向上に取り組んでいる。	① 付加価値の向上に取り組むとともに、食の安全や消費者の信頼に関わる取組を行い、リスクに対応している。 ② 付加価値の向上に取り組んでいるが、食品事故等のリスクへの対応が十分とは言えない。 ③ 付加価値の向上に取り組んでいない。	③	×
財務	10	資金区分	経営のための資金と家計のための資金を明確に区分している。	① 経営と家計の間の資金移動について、事業主報酬や給与の形で定額とするなど一定のルールを定めている。 ② 経営と家計の資金を区分しているが、経営と家計の間の資金移動に特段ルールを設けていない。 ③ 経営と家計の資金を区分していない。	①	－
	11	財務諸表	財務諸表を整備し、適切な財務管理や税務申告を行っている。	① 貸借対照表を作成し、適切な財務管理を行っている。 ② 帳簿を付け、青色申告は行っているが、貸借対照表は作成していない。 ③ 青色申告に必要な帳簿を付けていない。	②	○
労務	12	労働環境	家族・従業員の意欲を高めるために、労働環境の改善に取り組んでいる。	① 家族や従業員が意欲を持って従事できるよう、労働環境の改善に積極的に取り組んでいる。 ② 農作業安全への配慮など、一定の労働環境の改善には取り組んでいる。 ③ 労働環境の改善について、あまり関心をもっていない。	①	－
	13	福利厚生	家族や従業員を含め、必要な社会保険や労働保険、公的年金等に加入している。	① 家族や従業者等すべてが必要な社会保険や労働保険、公的年金等に加入している。 ② 必要な保険・年金に経営主は加入しているが、家族や従業員は加入していないものがある。 ③ 必要な保険・年金のうち、経営主が加入していないものがある。	③	○
地域活動	14	地域活動	地域農業の発展に資する活動を行っている。	① 地域農業に関する活動で中心的な役割を担っている。 ② 関係者とともに地域農業に関する活動に参加している。 ③ 地域農業に関する話合いには最低限参加しているが、具体的な活動は行っていない。	①	－

記入例

（２）経営データの記入フォーム

記入方法

1. 経営改善計画の申請書及び「青色申告決算書（農業所得用）」等を参照しながら、各項目欄に数字を記入してください。ほとんどの項目が、これらの書類からそのまま転記するか、簡単な計算をすることで記入できます。
2. 青色申告を行っていない方も、伝票や通帳等を用いて、できる限り該当する項目に記入して下さい。

[労働力]

記入例は、水田作（都府県）経営のもの。

農業従事者	[現　状] 農業従事日数（年間） 日	[現　状] 農業労働時間（年間） 時間	[目標（5年後）] 農業労働時間（年間） 時間
本人（経営主）	250	2000	1920
配偶者	200	1600	1200
長男	250	2000	1920
計 (1) 3 名	700	(2) 5600	5040

[農地]

	[現　状] 所有し耕作している農地面積 ha (町) (反) a (畝)	[現　状] 他から借り入れて耕作している農地面積 ha (町) (反) a (畝)	[現　状] 基幹作業を受託して耕作している農地面積 ha (町) (反) a (畝)	[現　状] 合計 ha (町) (反) a (畝)	[目標（5年後）] 合計 ha (町) (反) a (畝)
田	80	1320	140	1540	1720
畑（牧草地を含む）					
樹園地	80			80	80
計	160	1320	140	(3) 1620	1800

[生産・販売]

品目	[現　状] 作付面積 ha (町) (反) a (畝)	[現　状] 生産量 kg	[現　状] 販売金額（売上） 円	[目標（5 年後）] 作付面積 ha (町) (反) a (畝)	[目標（5 年後）] 生産量 kg	[目標（5 年後）] 販売金額（売上） 円
米 (4)	910	(8) 45,000	(12) 6,200,000	1200	65,000	9,000,000
小麦 (5)	1330	(9) 56,000	(13) 5,700,000	1400	59,000	6,500,000
ぶどう (6)	75	(10) 5,000	(14) 773,000	75	9,000	2,000,000
計 (7)	2315		12,673,000	2675		17,500,000
農業関連事業						
農産加工			1,770,000			2,000,000
計		(15)	14,443,000			19,500,000
						35 %増

[財務]

	科目		[現　状] 金額 円	[現　状] 割合 %
収入	販売金額		14,443,000	54
	交付金等		10,000,000	37
	その他雑収入		2,300,000	9
	計	(16)	26,743,000	100
経費	材料費	(17)	4,731,000	22
	労務費		425,000	2
	減価償却費	(18)	3,938,000	18
	地代・貸借料		1,672,000	8
	販売費		4,939,000	22
	その他		6,321,000	29
	計	(19)	22,026,000	100
農業所得		(20)	4,717,000	

[現　状] 資産 科目		[現　状] 資産 価格 円	[現　状] 負債・資本 科目		[現　状] 負債・資本 価格 円
現預金	(21)	12,817,000	借入金	(25)	4,000,000
その他流動資産		82,000	その他負債		2,850,000
流動資産計		12,899,000	負債計	(26)	6,850,000
減価償却資産	(22)	26,467,000			
土　地	(23)	18,796,000			
その他固定資産		40,000			
固定資産計		45,303,000	資本	(27)	51,352,000
計	(24)	58,202,000	計		58,202,000

[目標（5年後）] 円		
7,000,000	48	%増

（３）指標による評価結果シート

シートの見方　（農業経営指標分析プログラムに（１）のチェックリストと（２）の経営データの記入フォームを入力すると、評価結果シートが自動で出力されます。）

［現状と目標］　経営の基本データの現状と目標の値が示されています。それぞれの項目について、主業農家の標準的な水準（指標値①）及びトップクラスの主業農家の水準（指標値②）と比較しながら、自らの現状や目標の水準等について確認して下さい。

［技術指標］　技術水準を示す各種指標の値が示されています。それぞれの項目について、上記と同様に2つの指標と比較しながら、自らの技術水準を確認して下さい。

［財務指標］　財務状況を示す各種指標の値が示されています。それぞれの項目について、望ましい水準の範囲内にあるかどうか確認して下さい。

［取組指標］　（１）のチェックリストで記入した取組状況及び改善の優先度が図示されていますので、いつ何の取組を改善していくのか確認して下さい。

最後に、それぞれの指標を総合的に評価して、今後、どのように経営の改善・発展を図っていくかを検討し、翌年の経営計画に反映させて下さい。

［現状と目標］

項目	フォームの項目	単位	現状	目標	指標値①（主業農家の標準的な水準）	指標値②（主業農家の上位20%の水準）
農業従事者数	(1)	人	3	3	2	3
総労働時間	(2)	時間	5,600	5,040	3,092	5,080
経営耕地面積	(3)	a	1,620	1,800	956	2,073
総売上	(16)	千円	26,743	32,000	14,223	29,939
総費用	(19)	千円	22,026	25,000	8,718	18,188
農業所得	(20)	千円	4,717	7,000	5,011	11,093

指標値は、水田（都府県）経営のもの。

［技術指標］

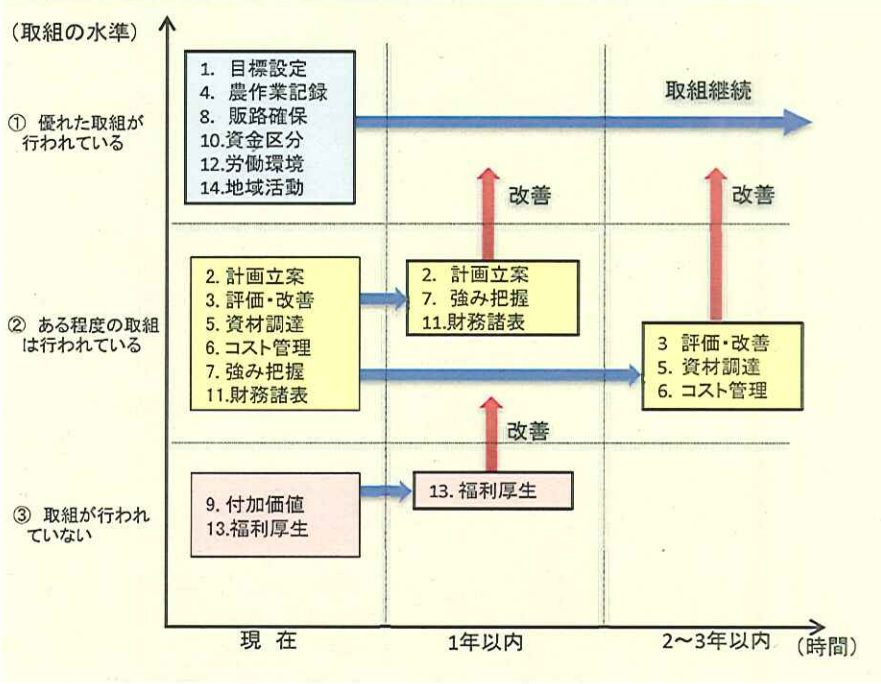
項目	計算式	単位	現状	指標値①（主業農家の標準的な水準）	指標値②（主業農家の上位20%の水準）	評価
単収※ 米	(8)/(4)×10	kg/10a	495	528	564	
単収※ 小麦	(9)/(5)×10	kg/10a	421	393	401	
単収※ ぶどう	(10)/(6)×10	kg/10a	667	1,103	1,265	
土地生産性※ 米	(12)/(4)/100	千円/10a	68	112	124	
土地生産性※ 小麦	(13)/(5)/100	千円/10a	43	27	29	
土地生産性※ ぶどう	(14)/(6)/100	千円/10a	103	558	795	
土地生産性※ 全体	(15)/(3)/100	千円/10a	89	138	181	
労働生産性	(16)/(2)	円/h	4,776	5,005	8,370	
農業従事者1人当たり農業所得	(20)/(1)/1000	千円/人	1,572	2,759	5,417	
生産単位当たり労働時間	(2)/(3)×10	時間/10a	35	27	16	
売上高材料費比率	(17)/(16)×100	%	18	19	15	
農業所得率	(20)/(16)×100	%	18	38	48	

※　品目別の指標は指標値①が全国平均の値、指標値②が上位20%の都道府県の平均値。畜産に関しては、飼養頭羽数当たりの生産性。

［財務指標］

項目	計算式	単位	現状	望ましい水準	評価
売上高借入金比率	(25)/(16)×100	%	15	0～100	
生産単位当たり借入金	(25)/(3)/100	千円/10a	25	0～130	
生産単位当たり農業用固定資産額	(22)/(3)/100	千円/10a	163	0～130	
自己資本比率	((27)-(23))/((24)-(23))×100	%	83	30～100	
売上高現預金比率	(21)/(16)×100	%	48	20～200	

［取組指標］



＜評価の例＞

A：トップクラスの水準（上位20%内）の項目
B：平均的な主業農家の経営を上回る水準の項目
C：平均的な主業農家の経営を下回る水準の項目
D：算出に必要なデータが把握されていない項目

○：望ましい水準の範囲内にある項目
△：望ましい水準の範囲外にあり、注意を要する項目
▲：経営と家計の区分がされていない可能性のある項目

さあ、皆さんも「新たな農業経営指標」に取り組んでみましょう！

指標の活用は決して難しくはありません
次の3つのステップだけ！
とても簡単です！！

ステップ1

まずは、自分で記入するための「経営改善のためのチェックリスト」と「経営データの記入フォーム」の様式を入手しましょう。

以下の農林水産省ホームページからダウンロードするか、お近くの市町村や農業改良普及センター等で入手してください。

（以下の「経営改善実践システム」を活用してインターネット上で直接入力することも可能です。）

ステップ2

このパンフレットを参照しながら、入手した「経営改善のためのチェックリスト」と「経営データの記入フォーム」の様式に自分の経営状況や目標などについて記入しましょう。

記入方法等がわからない場合は、農林水産省ホームページにある「農業経営指標による自己チェック用ガイド」を参照してください。

ステップ3

記入した内容を、農林水産省ホームページにある「経営改善実践システム」に入力して「評価結果シート」を作成しましょう。

入力方法がわからない場合は、農林水産省ホームページにある「経営改善実践システムの操作マニュアル」を参照してください。

経営改善実践システムのアドレスはこちら ☞ https://shihyo.maff.go.jp

［経営改善実践システムの画面］

指標の結果を経営改善につなげましょう

指標に取り組むだけでは経営は改善されません。

「評価結果シート」をもとに、自分の経営をどのように改善・発展させていくかを検討して、それを次期の経営計画に反映させましょう！

指標についてのお問い合わせは、お近くの地方農政局まで

北海道農政事務所　経営・事業支援課	011-642-5479	近畿農政局　担い手育成課	075-414-9017
東北農政局　担い手育成課	022-221-6241	中国四国農政局　担い手育成課	086-224-9414
関東農政局　担い手育成課	048-740-0384	九州農政局　担い手育成課	096-211-9269
北陸農政局　担い手育成課	076-232-4318	沖縄総合事務局　経営課	098-866-1628
東海農政局　担い手育成課	052-715-5191	農林水産省　経営局　経営政策課	03-6744-2143